

第二次江南市地球温暖化対策実行計画について

・第二次江南市地球温暖化対策実行計画全体の取り組み結果

★総排出量の削減目標に対する結果

第二次江南市地球温暖化対策実行計画の計画期間の温室効果ガス排出量、削減量及び削減率を表1に示します。

削減目標は6%ですが、平成25年度は8.1%で、平成26年度は10.0%、平成27年度は12.4%、平成28年度は13.0%、平成29年度は13.6%という結果でした。

表1【年度ごとの温室効果ガス排出量、削減量及び削減率】

年 度	排出量 (t-co2/年)	平成23年度比	
		削減量 (t-co2/年)	削減率 (%)
平成23年度 (第二次計画基準年度)	7,647	—	—
平成25年度	7,025	622	8.1
平成26年度	6,883	764	10.0
平成27年度	6,699	948	12.4
平成28年度	6,650	997	13.0
平成29年度 実績値	6,605	1,042	13.6
第二次計画目標値	7,188	469	6.0

★第二次計画期間中の活動区分別温室効果ガス排出量

第二次計画期間中の活動区分別の温室効果ガス排出量の推移を表2として表しています。各活動区分で見ますと、「電気の使用」については、毎年度削減を続けることができました。

しかしながら、「燃料の使用」については、基準年度と比べ悪化しております。

また、「公用車の使用」については、基準年度と比べ目標年度は横ばいでした。

表2【各活動区分別温室効果ガス排出量推移】

活動区分	平成23年度 (基準年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標年度)	
	温室効果ガス 排出量 (kg-CO ₂ /年)						
		削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	
電気の使用	6,093,784 —	5,240,085 14.0%	5,184,503 14.9%	5,113,167 16.1%	4,930,275 19.1%	4,873,092 20.0%	
燃料の使用	ガソリン	2,229 —	575 74.2%	1,612 27.7%	1,526 31.5%	3,274 △46.9%	2,252 △1.0%
	灯油	46,328 —	44,887 △3.1%	43,280 6.6%	29,679 35.9%	42,047 9.2%	76,079 △64.2%
	軽油	0 —	0 —	0 —	0 —	26 —	0 —
	A重油	556,796 —	561,073 △0.8%	567,368 △1.9%	532,369 4.4%	514,382 7.6%	488,440 12.3%
	液化石油ガス(LPG)	505,828 —	518,124 △2.4%	491,784 2.8%	462,221 8.6%	505,594 0.0%	522,858 △3.4%
	都市ガス	239,708 —	265,382 △10.7%	228,784 4.6%	215,224 10.2%	262,803 △9.6%	262,506 △9.5%
	ガス・ガソリン機関(定置式)における都市ガス	3,921 —	170,268 △4,242.5%	158,959 △3,954.0%	142,931 △3,545.3%	185,617 △4,633.9%	181,413 △4,526.7%
	燃料の使用の合計	1,354,810 —	1,560,309 △15.2%	1,491,787 △10.1%	1,383,949 △2.2%	1,513,743 △11.7%	1,533,548 △13.2%
	公用車の利用	198,481 —	224,454 △13.0%	206,263 △3.9%	202,314 △1.9%	205,952 △3.8%	198,194 0.1%
合計	7,647,046 —	7,024,848 8.1%	6,882,553 10.0%	6,699,430 12.4%	6,649,970 13.0%	6,604,834 13.6%	

★第二次計画期間中の施設分類別温室効果ガス排出量

第二次計画期間中の施設分類別の温室効果ガス排出量の推移を表3として表しています。平成25、26年度については、本庁舎で排出される温室効果ガスが基準年度を上回っていましたが、平成27年度からすべての施設分類で基準年度を下回っております。

しかしながら、本庁舎のみ温室効果ガス排出量の削減率が目標値である6%に足していません。

表3【各施設分類別温室効果ガス排出量推移】

施設分類	平成23年度 (基準年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標年度)
	温室効果ガス 排出量 (kg-CO ₂ /年)					
		削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比
本庁舎	482,059	569,895	532,935	440,524	481,727	470,188
	—	△18.2%	△10.6%	8.6%	0.1%	2.5%
事業施設	2,194,221	2,070,300	2,080,617	2,130,175	1,962,588	1,911,468
	—	5.6%	5.2%	2.9%	10.6%	12.9%
教育・ 福祉施設	2,792,518	2,509,936	2,404,330	2,389,821	2,431,386	2,502,356
	—	10.1%	13.9%	14.4%	12.9%	10.4%
市民利用施設	2,178,278	1,875,257	1,864,672	1,738,911	1,774,268	1,720,822
	—	13.9%	14.4%	20.2%	18.5%	21.0%
合 計	7,647,046	7,024,848	6,882,553	6,699,430	6,649,970	6,604,834
	—	8.1%	10.0%	12.4%	13.0%	13.6%

★第二次計画期間中の電気の使用による排出係数の変遷

第二次計画では、電力の使用による二酸化炭素排出量の算定に環境省が毎年公表する排出係数を使用しております。

表 4 に計画期間中各年度の使用した排出係数を表します。

表 4 【年度別電力の使用による二酸化炭素排出係数】

	平成 23 年度 (基準年度)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (目標年度)
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.550	0.516	0.513	0.497	0.486	0.485

表 4 のとおり電気の使用による二酸化炭素排出係数については、毎年度低くなっており、第二次計画の結果に大きく影響しております。

下記の表 5 は、仮に電力の使用による二酸化炭素排出量の算定に平成 23 年度（基準年度）の排出係数である 0.55 kg-CO₂ を使用した場合の各年度の二酸化炭素排出量です。

排出係数をすべて固定しているため、二酸化炭素排出量はエネルギー使用量と比例することとなります。

表 5 【基準年度の排出係数固定の場合の各年度温室効果ガス排出量】

施設分類	平成 23 年度 (基準年度)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (目標年度)
	温室効果ガス 排出量 (kg-CO ₂ /年)					
		削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比	削減率 基準年度比
電気の使用	6,093,784	5,585,362	5,558,434	5,658,434	5,579,529	5,526,187
	—	8.3%	8.8%	7.1%	8.4%	9.3%
燃料の使用	1,354,810	1,560,309	1,491,787	1,383,949	1,513,743	1,533,548
	—	△15.2%	△10.1%	△2.2%	△11.7%	△13.2%
公用車の利用	198,481	224,454	206,263	202,314	205,952	198,194
	—	△13.0%	△3.9%	△1.9%	△3.8%	0.1%
合 計	7,647,046	7,370,125	7,256,484	7,244,697	7,299,224	7,257,929
	—	3.6%	5.1%	5.3%	4.5%	5.1%

・ 第二次江南市地球温暖化対策実行計画の総評

平成29年度は第二次江南市地球温暖化対策実行計画の目標年度となっており、「★総排出量の削減目標に対する結果」より、全体といたしましては、基準年度と比較し、約13.6%の温室効果ガス排出量を削減した成果があげられました。

また、計画開始年度である、平成25年度より目標値である温室効果ガス排出量削減率6%を達成しており、計画全体を通して順調でした。

しかしながら、「★第二次計画期間中の電気の使用による排出係数の変遷」の表4にあるとおり、電気の使用による二酸化炭素排出係数の低下が温室効果ガス排出量削減に大きく影響しており、温室効果ガス排出量だけでなく、電気や燃料などのエネルギー使用量の削減も併せて達成する必要があります。

平成29年度に策定した第三次江南市地球温暖化対策実行計画では、上記のことを踏まえまして、温室効果ガス排出量の削減目標だけでなく、エネルギー使用量の削減目標を設定し、温室効果ガス排出量の削減目標達成のために、引き続き職員一人ひとりが日常の業務において実施可能な温室効果ガス削減の取り組みに対し、意欲的に実践してまいります。

■第三次江南市地球温暖化対策実行計画

計画期間：2018年度（平成30年度）
～2022年度（平成34年度）

基準年度：2016年度（平成28年度）

目 標：2022年度（平成34年度）における
温室効果ガス排出量を基準年度比で16%削減する
エネルギー使用量を基準年度比6%削減する

